

2023年度 医療経営管理学科 教育課程の編成・実施の方針の検証

2023年4月～2024年2月までにマイステップに登録されたデータを集計。

1. 登録状況

学年	登録数	登録率
1年次	51	67.1%
2年次	15	20.5%
3年次	27	31.4%
4年次	19	22.1%

2. 項目別・年次別平均値

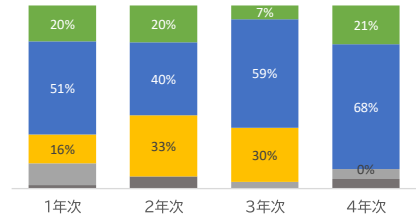
項目		1年次		2年次		3年次		4年次	
		2023年	前年比	2023年	前年比	2023年	前年比	2023年	前年比
CP1-1	実体験に基づく学び	4.75	0.58	4.67	▲0.14	4.70	▲0.22	4.95	0.13
CP1-2	医療やいのちに関する体系的学び	5.16	0.59	4.73	▲0.17	4.81	▲0.26	5.05	▲0.05
CP1-3	実社会で使える知識・技能の修得	5.02	0.45	5.00	0.19	4.78	▲0.14	5.16	0.13
CP2-1	地域に対する当事者理解	4.76	0.76	4.53	▲0.10	4.78	0.36	5.00	0.11
CP2-2	健康に対する当事者理解	5.08	0.80	5.00	▲0.09	4.89	0.18	5.00	▲0.17
CP2-3	対人関係能力の養成	4.90	0.33	4.93	0.12	4.70	▲0.15	5.05	0.16
CP3-1	心身の調整法・鍛錬法の日常化	4.82	0.43	5.13	0.59	4.52	0.02	4.68	▲0.07
CP3-2	実行力、考察力、課題解決能力の養成	4.84	0.52	5.00	0.37	4.59	▲0.12	4.84	0.09
CP3-3	成長サイクルの日常化	4.82	0.75	4.93	0.30	4.52	0.02	4.74	0.06

3. 回答の分布

凡例	■1:全くそう思わない	■2:そう思わない	■3:あまりそう思わない	■4:ややそう思う	■5:そう思う	■6:非常にそう思う
----	-------------	-----------	--------------	-----------	---------	------------

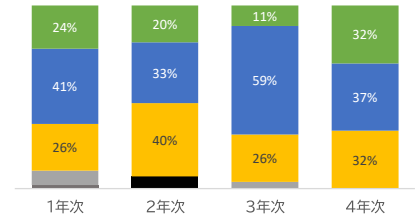
CP1. 興味・関心をキャリア形成につなげる

CP1-1. 実体験に基づく学び



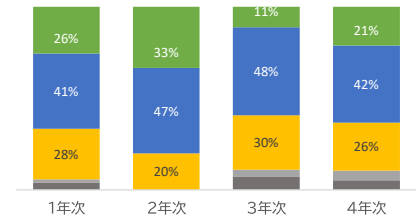
CP2. 奉仕の心から福祉の心を育む

CP2-1. 地域に対する当事者理解

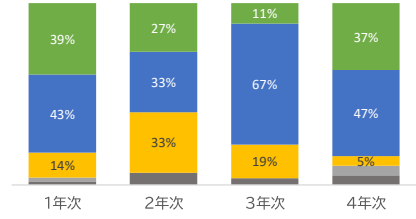


CP3. 主体性を発揮し実社会で活動する

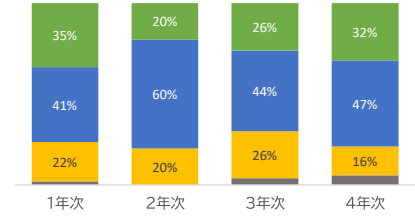
CP3-1. 心身の調整法・鍛錬法の日常化



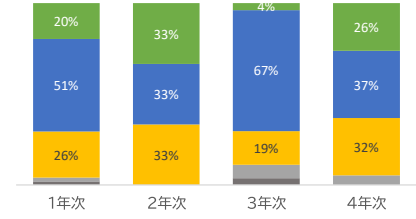
CP1-2. 医療やいのちに関する体系的学び



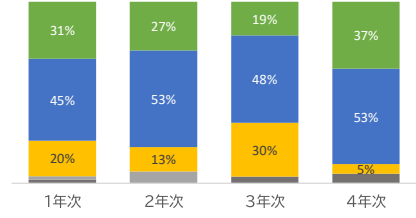
CP2-2. 健康に対する当事者理解



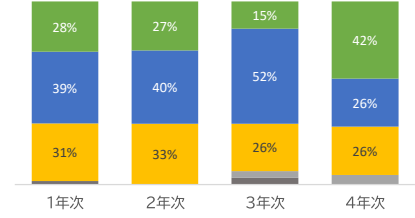
CP3-2. 実行力、考察力、課題解決能力の養成



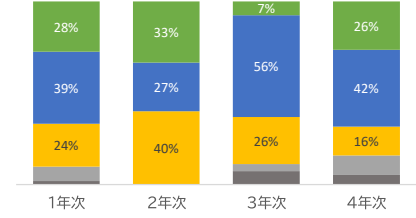
CP1-3. 実社会で使える知識・技能の修得



CP2-3. 対人関係能力の養成



CP3-3. 成長サイクルの日常化



4. 結果の考察と今後の対応

9割前後の学生は、教育課程の編成・実施の方針に沿った学びを意識し、享受していることが示された。特に1年生においては、昨年度は低評価だった「実体験に基づく学び」「健康に対する当事者理解」「地域に対する当事者理解」「成長サイクルの日常化」の各項目が向上した。今年度は、認知症サポーター講座の受講、仙台元気塾での健康増進活動に励む利用フィールドワーク、健康・医療に関する課題発表などの授業内での活動機会や、MOSや防災士など各種資格・検定に挑戦する学生が多かったことが、教育課程に対する1年生の評価が高くなった要因と考えられる。

参考:各項目の評価基準

CP1-1	実体験に基づく学び	医療機関や企業等での就業を体験し、現場で何が求められるのかを学んでいる
CP1-2	医療やいのちに関する体系的学び	人体の基本的な構造と機能などの基本的知識を学びながら、医療制度・社会保障制度など、私たちの健康を支える社会のしくみと関連づけて学ぼうとしている
CP1-3	実社会で使える知識・技能の修得	各種の技能検定・資格認定のための専門教育を学び、実社会で使える標準的・実践的な知識・技能の習得に努めている
CP2-1	地域に対する当事者理解	福祉ボランティア活動、地域共創活動などに参加し、地域の人々と共に地域の活性化に主体的に関わっている
CP2-2	健康に対する当事者理解	地域における健康増進活動に参加し、健康について実践から学んでいる
CP2-3	対人関係能力の養成	スポーツやサークル活動等の課外活動での、他者との様々な関わりを通して、他者への理解を深め、良好な人間関係の構築に努めている。
CP3-1	心身の調整法・鍛錬法の日常化	禅を体験し、心身の調整法・鍛錬法を体得している
CP3-2	実行力、考察力、課題解決能力の養成	大学生活を通して、継続的にスポーツや文化活動、ボランティア活動、地域貢献プロジェクト等に取り組む、実行力、考察力、課題解決能力を養っている
CP3-3	成長サイクルの日常化	学修ポートフォリオ(マイステップ等)を活用し、自身の活動の振り返りや達成度評価を行うことで、持続的な成長サイクル(PDCA)が身についてきている